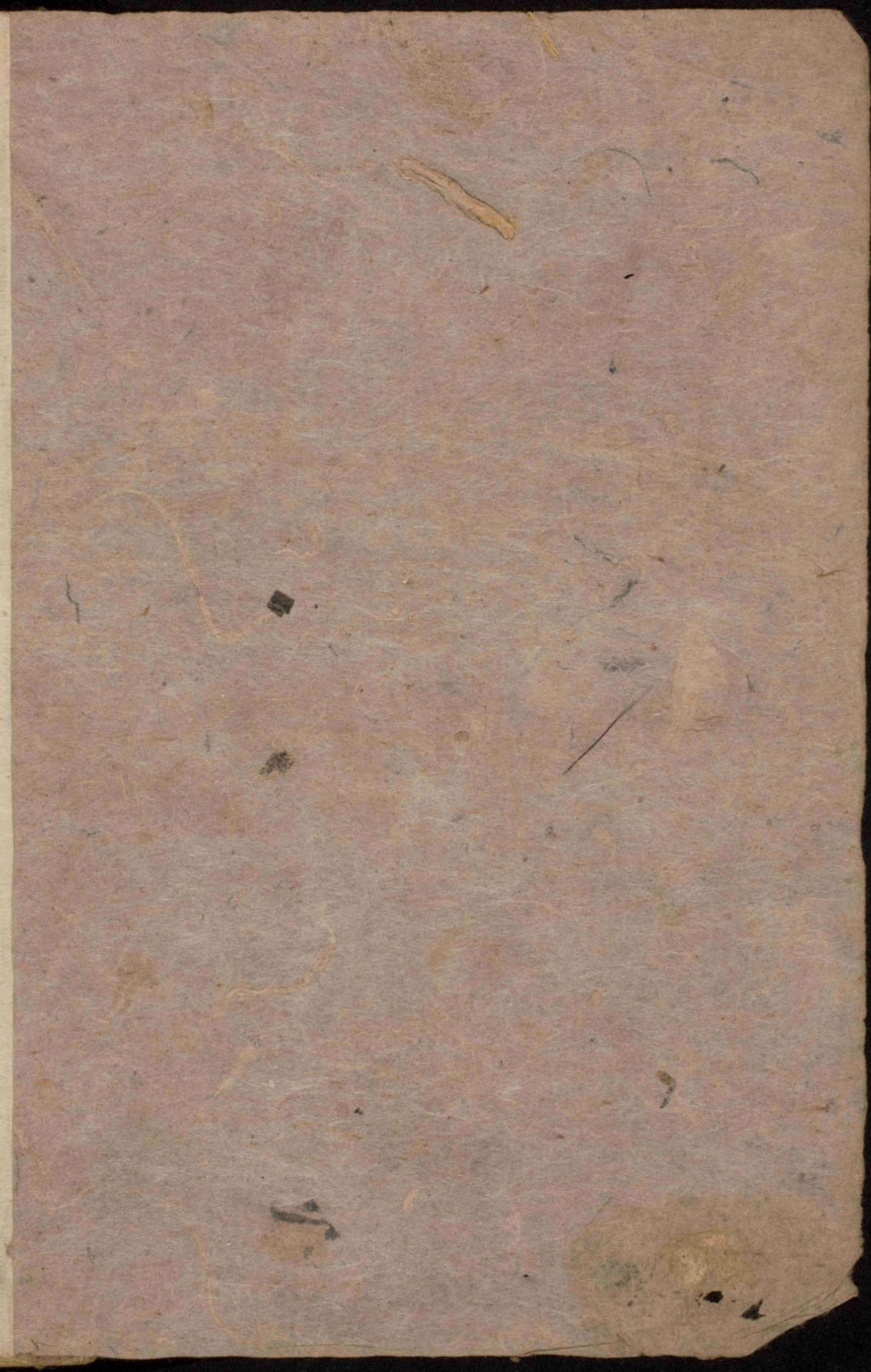


享和二年

成



陽曆 金二合

陰曆

命二合

陽曆 命二合

命二合

陽曆 命三合

陰曆

陽曆 命二合

陰曆

陽曆 命二合

陽曆 命二合

陰曆

陽曆 命二合

陽曆 命二合

陰曆

命二合

命二合

命二合

命二合

命二合

命二合

命二合

命二合

命二合

命二合

命二合

命二合

命二合

命二合

陽曆 命二合

陽曆 命二合

陽曆 命二合

陽曆 命二合

陽曆 命二合

陽曆 命二合

陽曆 命二合

湯仁金直段附合印平日定 年中月次り人日

新造 金壹兩五分

新造附

金三分
金五分

正月

松之内
廿一日

二月

初午

新造 金三分

新造附

金三分
金壹分

三月

三日
四日

四月

朔日

昼夜共 金三分

新造附

金貳分
金壹分

五月

九日
六日

六月

朔日

新造附 金壹兩

新造附

金貳分
金壹分

七月

七日
十五日
十六日

八月

朔日
十五日

新造附 金三分

新造附

金貳分
金壹分

九月

九日

十月

九日
多公

新造附 金三分

新造附

金貳分
金貳分

家よりて十一月九日ころ

新造 金二分

新造附

金貳分
金貳分

より見世と引もわり

朝霞ひくもあやや金成盤の君々名寄も何う玉の。六
紀文の大盡舞。門小松ありゆとありあり情もふさき仲の所
捲し簾れ赤穂峯。則ハ雪と欺る所。黄鳥もも竹う語
寝せむ。青柳々風かあむく。春を尋る芳野これと尋
てあり。風流嫖子乃うとふとを宜なり。年深れ
も少席より直小四手。簾れわけ夢ハ帰鴈の叫ふひ
く。沿沂の人れ準擬して土を春風よ詠而歸
らん。思ふふ花と怨ふくひさ。紙の口紅摸すふ初
文の返辞ともれ。屠獲酒のさかんぬ。白と得くまます。
嫖客看看素累北里柳。花魁吳吳御出南枝梅。

壬戌限月

玳瑁樓主人

甲良照義





序され

まゐり

まゐり

江戸山科の心算
算帳の算帳の算帳
算帳の算帳の算帳

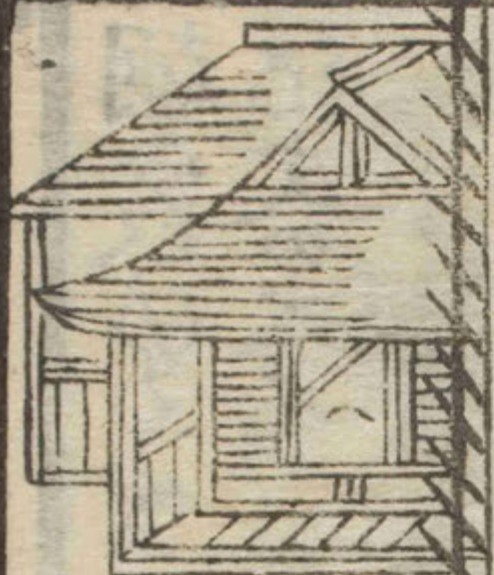
まゐり
まゐり
まゐり
まゐり
まゐり
まゐり
まゐり
まゐり
まゐり
まゐり

まゐり



大平のまゐり
田中や
若少

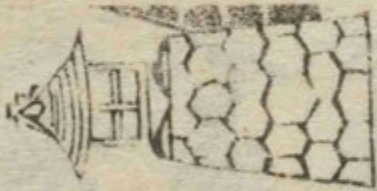
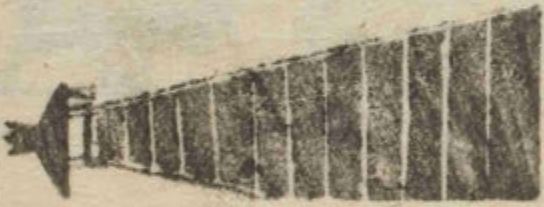
ほろや
大和や
かきや
あひや
松尾
又七
武方
久七



まゐり
まゐり

大平

水道尾



市無二
物也

小川や	あきや	中田や	うきや	あきや
張七	松七	松七	松七	松七

おのゝかきまはる

おのゝかきまはる

おのゝかきまはる

おのゝかきまはる

おのゝかきまはる

おのゝかきまはる

おのゝかきまはる

おのゝかきまはる

おのゝかきまはる

おのゝかきまはる

おのゝかきまはる

おのゝかきまはる

おのゝかきまはる

おのゝかきまはる

おのゝかきまはる

おのゝかきまはる

おのゝかきまはる

わげやまゝまゝ

つゝやまゝまゝ

うゝ村やまゝまゝ

ふゝあやまゝまゝ

かゝりやまゝまゝ

あゝとやまゝまゝ

あゝ田やまゝまゝ

ふゝあやまゝまゝ

はゝとあやまゝまゝ

かゝ美やまゝまゝ

うゝ免やまゝまゝ

京町二丁目

大さやまゝまゝ

ひゝとやまゝまゝ

八つとやまゝまゝ

一

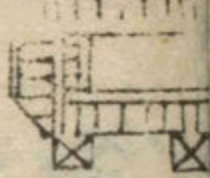
Handwritten text in Devanagari script, likely a continuation of the previous page.

以牙痛爲記

[illegible]

蘇州府志卷之四

江蘇新刊



玉屋山主郎

衾袖浦

今
狂
風

六
福
長

金

造像

小の系

小の里
小の亮
小の長

小の町

松や清

[illegible]

卷之八

乃竹
 乃竹
 乃竹

花字
分里

卷一百一十五

松枝

朱子
上卷

中
上

Handwritten notes in cursive script, likely representing musical notation or a shorthand system.

十
 九
 八
 七
 六
 五
 四
 三
 二
 一
 〇
 九
 八
 七
 六
 五
 四
 三
 二
 一
 〇

世世世世



卷之五
 卷之五
 卷之五
 卷之五
 卷之五

越前屋

和國 松山 唐土 通流 千山 白王 唐格

越前屋次郎

今知妻

八

八卷

金里

卷八

八
知
悉

三

わろさとし

楚辭

五子

557
558
559

卷之五

八

萬曆庚申年

松久翁の遺稿



鄭世安 潘公 潘公 潘公 潘公



潼川

世化扇

あけ

淹暖

淹橋

潘

阿

廣金守石衛

卷之四

全譜

公

卷之六

卷之七

卷之四

彈琴

紅梅

入

千
山

Handwritten text in cursive script, likely representing musical notation or lyrics.

[illegible]

Handwritten text in a cursive script, likely a list or inventory, with various numbers and letters.

松唐松
松唐松
松唐松
松唐松
松唐松
松唐松
松唐松
松唐松
松唐松
松唐松

國
 梅 174
 雲 175
 秋 176
 玉 177
 花 178
 池 179
 雲 180
 玉 181

[illegible][illegible]

内
外

山科
義の
晴
晴
この
さ
より
あ
さ
さ

子

代

そ

そ

そ

そ

そ

そ

そ

そ

そ

そ

そ

そ

そ

そ

そ

そ

そ

そ

そ

そ

そ

そ

そ

そ

そ

そ

そ

そ

そ

そ

そ

そ

山

の

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ



富

花

儼

英

若

却

任

松

枝

太田屋

糸

綿

松

千

糸

糸

糸

糸

糸

糸

ワ

ワ

ワ

卷之五

三
卷
上

Handwritten Chinese characters, likely a signature or name.

[illegible]

琴神柳山
浦柳山

七
源
五
取

とてふ 送
のり 名
八
のしやう

義

295432

清
美
久
老
因
美
清
公

千代子

五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百



卷之五

卷之四

This image shows a detail from a manuscript, likely a form of shorthand or a specific dialect. The characters are arranged in a grid, with approximately 10 rows and 10 columns. The script is highly stylized and cursive, with many characters appearing to be variations of a few basic forms. A decorative zigzag border is visible at the bottom of the grid.

Figure 6

Figure 7

此
山
風
雨



This image shows a rubbing of a page from a Chinese manuscript. The text is written in a highly stylized, cursive script (caoshu), which is characteristic of certain historical Chinese calligraphic traditions. The characters are arranged in two main vertical columns, with some characters appearing to be part of a larger, more complex arrangement. The rubbing process has resulted in dark, somewhat blurred impressions of the original ink on a lighter background. The overall appearance is that of an ancient document, possibly a record or a collection of poems or prose.

卷之五

卷之五

[illegible]

五言古詩

明



若松

七
 六
 五
 四
 三
 二
 一

何處有書

[illegible]

鑒

學也

芳名

とくしん
さん
うぶあ
まき
あのか
そて
つる

山一な
ちま
ひい
うへ月
ふのさ
二のま
ゆ
ら

田川屋

五言古詩


 雄 子 子 子
 子 子 子 子
 子 子 子 子

[illegible]

[illegible]

千五綴子炭焼花味抄方
正和様御代の井金

星野

新編金瓶梅詞話



江戶町三丁目人口



 都路  丸重  玉兼  清兼  佐良  七郎  美松  全秋

九屋玉函

[illegible]

卷之四

卷之六

三

Handwritten text in a cursive script, likely a continuation of the previous page, showing various characters and symbols.

天蓬山

錦山錦山錦山錦山錦山



李商隱

明石

夢

卷之六

卷之四

人
手
纏

卷之六

玉屋庄兵衛

八
游
訓

一多

報

不

花

卷之八

清江

第五
建維

[illegible]

天
 地
 人
 三才

柳塘春水綠
山色有无中
江上孤舟去
沙頭白鳥鳴
興因佳客發
情為落花生
醉後猶驚夢
醒來尚憶情



卷之八 節義門

卷八

八

今乃

五城

金浦

松

初風

太婢娘

卷之六

[illegible]

つぼ

と

ち

ち

ち

ち

ち

ち

ち

ち

ち

ち

ち

ち

ち

ち

七

傳

名

松

花

花

花

花

花

花

花

花

花

花

花

花

花

花

花

花

花

九

海

海

海

海

海

海

海

海

海

海

海

海

海

海

海

海

海

海





	...	...
	...	...
	...	...
...	...	...

...

[illegible]

西
山
本
本
本
本
本
本
本
本

[illegible]

靈寶

本行金田豐

楚主

東のちとて

此卷係清康熙年間所刻，其書法為行草，筆力雄健，墨色濃潤，為清初書法之代表。卷中文字多為詩詞，內容豐富，且多有題跋，反映了當時文壇之盛況。

卷之四

朱英三國英欽白



山崎 山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎 山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎 山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

丸

丸

卷之五

三

和光

三

卷之五

學古堂

卷之四

[illegible]

卷一百一十五

Handwritten text in a cursive script, likely a signature or a name, written in dark ink on a light background.



11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100
 101
 102
 103
 104
 105
 106
 107
 108
 109
 110
 111
 112
 113
 114
 115
 116
 117
 118
 119
 120
 121
 122
 123
 124
 125
 126
 127
 128
 129
 130
 131
 132
 133
 134
 135
 136
 137
 138
 139
 140
 141
 142
 143
 144
 145
 146
 147
 148
 149
 150
 151
 152
 153
 154
 155
 156
 157
 158
 159
 160
 161
 162
 163
 164
 165
 166
 167
 168
 169
 170
 171
 172
 173
 174
 175
 176
 177
 178
 179
 180
 181
 182
 183
 184
 185
 186
 187
 188
 189
 190
 191
 192
 193
 194
 195
 196
 197
 198
 199
 200
 201
 202
 203
 204
 205
 206
 207
 208
 209
 210
 211
 212
 213
 214
 215
 216
 217
 218
 219
 220
 221
 222
 223
 224
 225
 226
 227
 228
 229
 230
 231
 232
 233
 234
 235
 236
 237
 238
 239
 240
 241
 242
 243
 244
 245
 246
 247
 248
 249
 250
 251
 252
 253
 254
 255
 256
 257
 258
 259
 260
 261
 262
 263
 264
 265
 266
 267
 268
 269
 270
 271
 272
 273
 274
 275
 276
 277
 278
 279
 280
 281
 282
 283
 284
 285
 286
 287
 288
 289
 290
 291
 292
 293
 294
 295
 296
 297
 298
 299
 300
 301
 302
 303
 304
 305
 306
 307
 308
 309
 310
 311
 312
 313
 314
 315
 316
 317
 318
 319
 320
 321
 322
 323
 324
 325
 326
 327
 328
 329
 330
 331
 332
 333
 334
 335
 336
 337
 338
 339
 340
 341
 342
 343
 344
 345
 346
 347
 348
 349
 350
 351
 352
 353
 354
 355
 356
 357
 358
 359
 360
 361
 362
 363
 364
 365
 366
 367
 368
 369
 370
 371
 372
 373
 374
 375
 376
 377
 378
 379
 380
 381
 382
 383
 384
 385
 386
 387
 388
 389
 390
 391
 392
 393
 394
 395
 396
 397
 398
 399
 400
 401
 402
 403
 404
 405
 406
 407
 408
 409
 410
 411
 412
 413
 414
 415
 416
 417
 418
 419
 420
 421
 422
 423
 424
 425
 426
 427
 428
 429
 430
 431
 432
 433
 434
 435
 436
 437
 438
 439
 440
 441
 442
 443
 444
 445
 446
 447
 448
 449
 450
 451
 452
 453
 454
 455
 456
 457
 458
 459
 460
 461
 462
 463
 464
 465
 466
 467
 468
 469
 470
 471
 472
 473
 474
 475
 476
 477
 478
 479
 480
 481
 482
 483
 484
 485
 486
 487
 488
 489
 490
 491
 492
 493
 494
 495
 496
 497
 498
 499
 500
 501
 502
 503
 504
 505
 506
 507
 508
 509
 510
 511
 512
 513
 514
 515
 516
 517
 518
 519
 520
 521
 522
 523
 524
 525
 526
 527
 528
 529
 530
 531
 532
 533

金剛經

中興

子丁巳

大志如雲

卷之五

三才

卷之五

七の二

中
心

かゝるや如孫

うんさの
きさの
まふあや
かろまき
うんさの

[illegible]

子

三才

王侯公卿

分門古今類事

すゝのふ
くはる
きり
たけ

子子子子

子

子

子

子

子

子

子

子

子

子

子

子

子

子

子

子

子

子

子

子

子

子

子

子

子

子

子

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

木

木

七

木

木

木

木

木

木



宋屋

八十夜

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

江屋

江戸田舎

そめく

ワタシ

そめく

山

いせ

ワタシ

すれ

ワタシ



山田屋

玉川

二の町

そめく

ワタシ

そめく

ワタシ

あさ

ワタシ

玉川

ワタシ

そめく

ワタシ

そめく

ワタシ

そめく

ワタシ

そめく

ワタシ

五

卷之四

《女工七》
《女工七》
《女工七》
《女工七》
《女工七》

後漢書

卷之五
 文
 小
 名
 名
 名
 名
 名

海野人

竹

竹

卷之六

榮山

入
ひ
葉

竹

松浦



仙屋七郎其德

雜里

義浦

雀井

嘉松

方氏

人人人人人人人人

卷之五

五言古詩

神油
神油
神油
神油
神油
神油
神油

卷之四

草書 松雪の松雪村松雪



奥州 常陸 山吹 今里 代々 花火

中ノ山
七ノ山
とノ山
去ノ山
みノ山
のせノ
美ノ山
松ノ山
千ノ山
あやノ山
あノ山
美ノ山
山ノ山
山ノ山

いんふ
かうふ
おのふ
そのふ
すまふ
ふさふ
たふ
いとふ
うふ
ふふ
ふふ

内共々
加乃

中々

山名子

Am
15-5-53

五ノ三ノ二ノ一ノ

卷之四
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

萬壽無疆

相身聖祚

寫此後
佳佳佳
送送送
代代代
為為為
是是是

玉蘭

笠屋

秋實

谷梁山

臨川

壽

七 染
山

世風多岐

梅山

浮橋

欽

三

せは
まの

花里
楊
柔
柔
山

音々々々

うきと
うきの

志と
名と
心と

あつきの

三ノ

七、あや
あいのい
いさあそ
ちうとうし
ハきあひ

内よりヤ



松葉屋半藏

松戸

代藏

代藏

松戸

代藏

色藏

代藏

松戸

清村

重藏

代藏

松戸

松村

代所

代藏

松戸

查藏

望浦

代藏

松戸

代藏

代藏

代藏

松戸

宮藏

代藏

代藏

松戸

代藏

代藏

代藏

松戸

く

山玉經

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

[illegible]

三

天
 地
 人
 三
 才
 之
 理
 也

陳氏山房

卷之五

人參

醫

6 5
2 4
a 2



卷之七

Handwritten signature in Arabic script, likely reading "Muhammad al-Fayyaz".

鄭玄注

四

七

六

24657

三

Handwritten signature: *James M. Smith*

子安

聖

斗の坂屋敷で

ひまわり
まろい
くら
けりまろ

うゝあめ
こゝろを
もろもろ
ひきまき
ひきまき
の

くろく

竹屋

九叶金平公

松山
吉野
花の
かき

桐登

三和五五五五

かきくけこ

三
 三

[illegible]

上

上

上

上

上

上

上

上

上

上

上

上

上

上

上

上

上

上

上

上

上

上

上

上

上

上

上

上

上

上

上

上

上

上

上

239

Handwritten text in a cursive script, likely a continuation of the previous page, showing dense, flowing characters.

助平屋敷

吟西川畢

興慶

佐々木屋長兵衛

房山

瓜

子孫
山川
母の
子の

錦木

諸

伊豆山
志のい

秋

風

たの所の

平里

清

卷之四

名

千は

千手千眼
千手千眼

入
云
林
石

茶

ひさの
また

卷之六

望極
 炎つて
 炎つて

卷之四

欠

卷之八
 風
 中

楊松亭
子
子
子
子
子
子
子

張本
謝
謝
謝



草 春 額
 吐 星 額

春風
欽川
山

[illegible]

もむろ
さすを
系さん
きん山
きん山
松の山
まけを
けいお
みん山
きん山
みや山
あま山
あま山

甲子

李德裕

東山先生

五

後

海

卷之六

[illegible]

新屋好家

Handwritten text in cursive script, organized in vertical columns.



Large, bold characters, possibly representing names or titles, arranged horizontally.



Large characters with bird-like motifs above them, possibly indicating a specific category or origin.

Large characters with bird-like motifs above them, continuing the list or collection.

Small handwritten text at the bottom of the page, providing additional details or commentary.

鶴屋市三郎 (Tsuruya Ichisaburo)

き

き

き

き

き

き

き

き

き

き

き

き

き

き

き

き

き

き

き

伊勢屋公衛



伊勢屋公衛

伊勢屋公衛

伊勢屋公衛

伊勢屋公衛

伊勢屋公衛

伊勢屋公衛

伊勢屋公衛

伊勢屋公衛

伊勢屋公衛

伊勢屋公衛

伊勢屋公衛

伊勢屋公衛

伊勢屋公衛

伊勢屋公衛

伊勢屋公衛

伊勢屋公衛

伊勢屋公衛

伊勢屋公衛

伊勢屋公衛

天

山

天
山
屋
天

天
山
屋
天

天
山
屋
天

天
山
屋
天



長
天
山
屋
天

天
山
屋
天

天
山
屋
天

山城府五ヶ所

山城

山城

山城府

山城府

山城府

山城府

山城府

山城府

山城府

山城府

山城府

山城府

山城府

山城府

山城府

山城府

山城府



小松屋

小松屋文藏

小松屋

小松屋

小松屋

小松屋

小松屋

小松屋

小松屋

小松屋

松の井

ひめめ

えい

さくら

千

はや

え

すの

え

えん

え

えん

え

えん

え

えん

え

えん

え

えん

え

えん

え

えん

え

えん

大己之命又吉

(Faint handwritten Japanese text)

加毛屋文治郎

[illegible]

かたきまやう

[illegible]

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山



山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

る
主
中
山
山

る
る
る
る
る
る
る
る

る
る
る
る
る
る
る
る

る
る
る
る
る
る
る
る

る

る
る
る
る
る
る
る
る

る

る
る
る
る
る
る
る
る

る

る
る
る
る
る
る
る
る

る
る
る
る
る
る
る
る

る
る
る
る
る
る
る
る

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

步

刊

大德

五國

五ノ目 井ノ目

卷之五

救本

万
 松の元の州
 升の元
 佐の江
 元の江
 榮の山
 錦の本

杉平盛子

常

五山

かみ

美いと

世

七

千代子

子

かき

ふか

内
外

中て
つ版

惠心僧都御作

朝日如来

安置

丸屋甚左衛門

雪金源八

阿彌陀

やみひら
けのえ
きむ
またれ

またま
ての
きむ
またれ

またま
ての
きむ
またれ

般若

あんど屋八

あんど
またれ
またれ

あんど
またれ
またれ

あんど
またれ
またれ

あんど
またれ
またれ

あんど
またれ
またれ

あんど
またれ
またれ

あんど
またれ
またれ

あんど
またれ
またれ



阿彌陀
あんど
またれ
またれ

きんぎょ

少 本 子

た

きんぎょ

少 本 子

きんぎょ

きんぎょ

少 本 子

きんぎょ

桐 屋

きんぎょ

桐 屋

きんぎょ

桐 屋

漆 屋

きんぎょ

漆 屋

きんぎょ

漆 屋

きんぎょ

漆 屋

漆 屋

きんぎょ

漆 屋

きんぎょ

時

三

人

三

三

所

三

三

三

美の山

七



七



七

七

七

卷之四

[illegible]

金剛經

四

17

西家子



明發

中や成ふ

みきき
よりきき
よりきき
ふきき

子と

あやう
九の
清く
た

廟

而全盛多矣

あまのこ

あつみより
みよりの
はつみより

卷之四

大志のやうな

三

卷之五

中
いさ

This image shows a blank, aged, cream-colored page, likely an endpaper or flyleaf from an old book. The paper has a slightly textured appearance with some minor discoloration and faint horizontal ruling lines. There is no text or other markings on the page.

男藝者之部

女藝者之部

都大夫

仲

野沢

伊佐吉

山彦

文次郎

都

吉藏

山彦

文四郎

萩江

藤四郎

萩江

藤吉

名見寄

市子郎

萩江

松藏

萩江

藤治

富本

安梨夫

三味子

兵助

三味子

利八

常盤津

出雲夫

名見寄

安泊

萩江

徳藏

萩江

藤子郎

富本

安梨夫

てはやとこんふ

ひでらこまきん

ときいまやえん

そかをはるきむ

やまうとべんこ

ふでうけいまま

このくまきん

さうとさのゆ

らえいえあね

あいのえん

はるきいせあ

はらとくまら

みかでんあ

あをさねすた

十寸見 菊示

富本 富美夫

萩江 佐之助

田子 七平

萩江 栄藏

萩江 半治郎

吾妻 智美夫

岡安 幸治郎

竹本 定太夫

竹本 滝太夫

富本 妻美夫

富本 喜美夫

錦屋 惣八

島屋 里辰

野沢 長太郎

竹本 信太夫

ゆき かるとの

やん さよりの

まり 志のちの

きと ちやとの

しら ちのちの

せん ちかすの

あま みよいの

とせ ちとるの

くら ちかとの

いさ ちのちの

こよ ちかとの

さの いとていの

いよ ちとていの

いよ ちとていの

いよ ちとていの

いよ ちとていの

世世沢美流
話 雀沢美分
後 萩江信太夫

力

子

卷七

一

丁

卷之五

三

卷之五

漢書

204

2

卷之四



—

—

會所 舟指之部

船橋久松

船橋久松

船橋久松

船橋久松

船橋久松

船橋久松

船橋久松

船橋久松

船橋久松

船橋久松

船橋久松

船橋久松

船橋久松

船橋久松

船橋久松

船橋久松

船橋久松

船橋久松

新泉寺町 舟指之部

船橋久松

船橋久松

船橋久松

船橋久松

船橋久松

船橋久松

船橋久松

船橋久松

船橋久松

船橋久松

船橋久松

船橋久松

船橋久松

船橋久松

船橋久松

享和二年

改示

小泉忠五郎

壬戌正月

取次

小田原屋 衞

版元

通油町 葛屋重三郎

金史卷一百一十五

